



チーム名：Altermanns Werkstatt  
作品タイトル「白亜（仮題）」



## ターゲット

ゲームに物語性を求める方、アクションゲームが好きな方。

## プレイ人数

1人

## ゲームの目的

記憶喪失の主人公が塔の頂を目指し、記憶を取り戻す。



## ゲームクリア・勝利条件

塔を登ることで物語が進行し、最後まで見届けるとクリアになります。

## ゲームオーバー条件

落下や敵の攻撃などで体力がゼロになるとゲームオーバー。  
致死高度からの落下は即死！



## 開発進捗

フィールド、キャラクターCG作成中。

## 備考・注意点

現在鋭意制作中です。  
制作に協力してくれる仲間を募集しているので、是非お声がけ下さい。



# 操作説明

※足りない場合は、ご自身で操作説明のページを追加してください。

WASDキー：上下移動

マウス：視点操作

ピッケルを少しずつ動かして登るような操作にしようと思います。

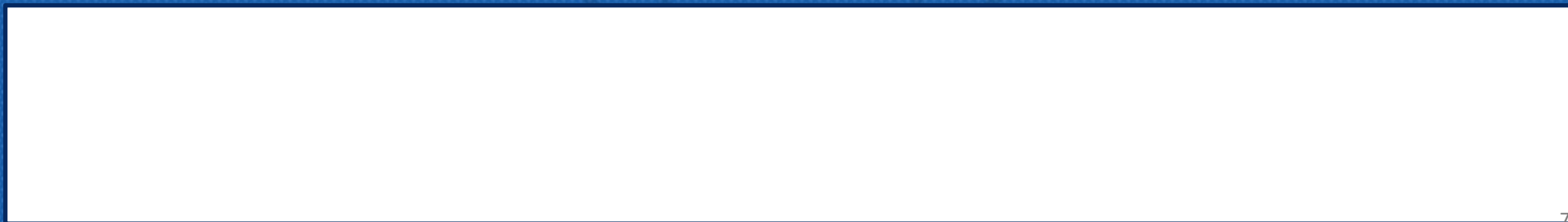


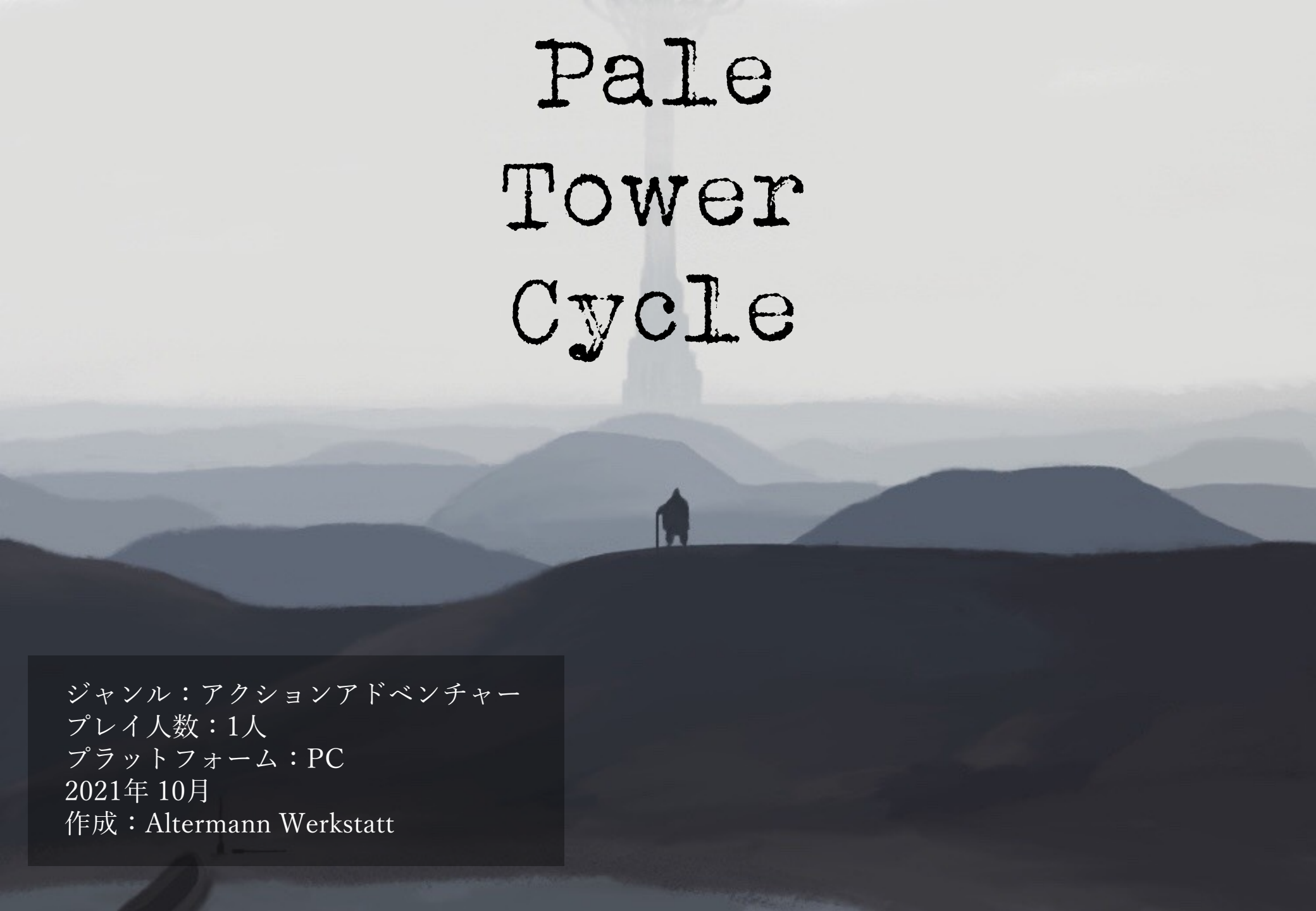
# スタッフリスト欄

※足りない場合は、ご自身でページを追加してください。

- ・ 翁
  - ① プランナー

**以降のページに  
企画書を追加してください**





# Pale Tower Cycle

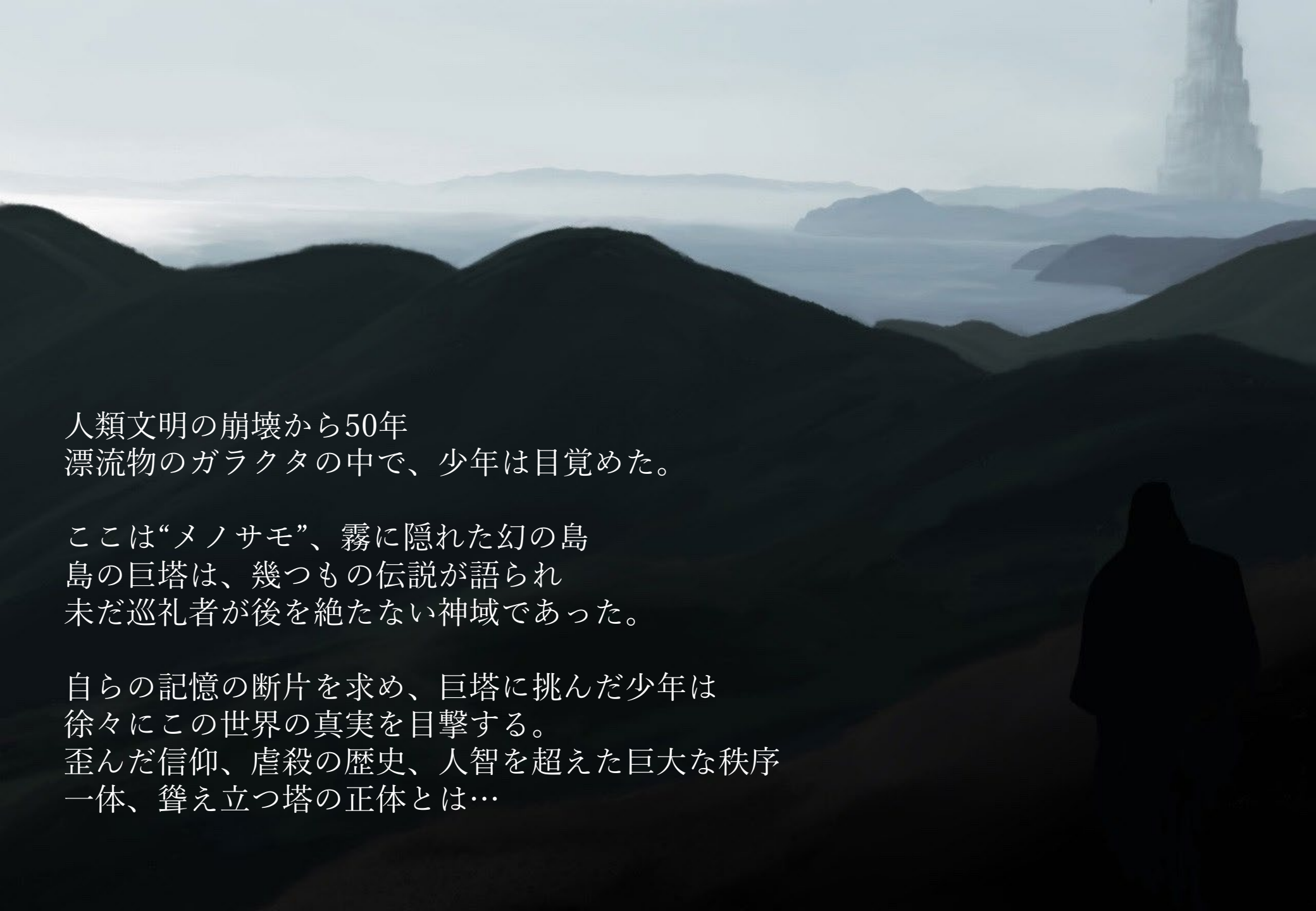
ジャンル：アクションアドベンチャー

プレイ人数：1人

プラットフォーム：PC

2021年 10月

作成：Altermann Werkstatt



人類文明の崩壊から50年  
漂流物のガラクタの中で、少年は目覚めた。

ここは“メノサモ”、霧に隠れた幻の島  
島の巨塔は、幾つもの伝説が語られ  
未だ巡礼者が後を絶たない神域であった。

自らの記憶の断片を求め、巨塔に挑んだ少年は  
徐々にこの世界の真実を目撃する。  
歪んだ信仰、虐殺の歴史、人智を超えた巨大な秩序  
一体、聳え立つ塔の正体とは…

# “塔を登る”ゲーム

手に汗握る、**高所恐怖**との戦い!

「登る」という行為に主眼を置いた本作は、リアリティのある描写を追究しています。キャラクターの動きや高さの表現に加え、装備、食料、酸素などのサバイバル要素を設けることで、プレイヤーは常に緊張感を伴いながら塔を登ることになります。

“登るだけ”じゃない、**白熱のボスバトル!**

個性豊かなキャラクター達、彼らは時に敵として立ちはだかります。突然の奇襲、立体的なフィールドでのバトル、NPCとの共闘  
物語に応じた異なるスタイルのボス戦で、ゲームプレイはより多様に。

「“塔”とは何なのか」**人類の終焉を描いた、壮大な神話物語!**

塔を登る過程で、徐々に明かされる世界の真実。  
「決定論と自由意志」「虚構と現実」「存在論」  
ゲームを通して語られる、重厚なシナリオをお楽しみ下さい。

# ゲーム概要



(プレイ画面のイメージ)

プレイヤーは二本一對のピックルを用いて、塔に挑みます。

「下を見れば、**恐怖**は増す」

しかし同時に俯瞰的に世界の状況を把握でき、ある種のストーリーテリングとしても機能します。

## ・アミュレット

>状態異常「呪い」を軽減するアイテム。

特定の場所や黒い嵐に遭遇すると呪い状態になり、気力が急激に減少するようになる。

アミュレットには耐久度があるため、壊れた場合は道中で捨るか、NPCから貰う必要がある。

## ・体力/気力ゲージ

>体力は落下やボスの攻撃を受けると減少する所謂HP。食料を摂ることで回復できる。ゼロになるとゲームオーバーになる。

気力は登り続けると徐々に減少するため、平地での休息が必要になる。

また「酸素濃度」や「呪い」の影響を受けるため対策が必要。

ゼロになると落下し、致死高度の場合はゲームオーバーになる。

塔を登れ!

「全ての遺物は  
塔へと還る…」

「ブーツにピッケル、  
クソ不味いレーション」

登攀者の心得

より強い装備  
アイテムを獲得!

ビーコンに  
装備・アイテムを捧げよ…

「装備を捧げる…?」 ビーコンシステムとは

塔には高度ごとに「キャンプ（セーブ地点）」があり、死亡時にはそこにリスポーンします。キャンプの解放には中にある祭壇に指定の条件を満たした装備・アイテムを捧げ、“ビーコン”を設置する必要があるのです。

「獲得した装備を捧げるか?」

葛藤

「解放せずにリスクを負うか?」

# その他の要素



各キャラクターには固有のイベントが用意されています。  
放浪者、騎士、島の精霊。思想や目的の異なる者達、彼らは何故、塔を目指すのか。  
ゲームプレイに花を添えるキャラクターイベントの数々、複雑に錯綜する彼らの運命を  
是非見届けてください。